

## 北海道士幌高等学校の行動計画(アクションプラン) Part 2

全国の農業高校の行動計画		学校において平成28年度に重点化した取組の実現状況・課題		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
Ⅰ 持続可能な循環型社会の実現に向けて農業教育と環境教育を推進し、地域の先進的なエコロジカルアグリハイスクールを目指します。	1 環境保全型農業を推進する農業教育を実践します。	(1) 農薬や化成肥料を使わない作物、野菜栽培を推進する。 (2) 良質な堆肥づくりを目指し循環農法を推進する。 (3) 有機栽培技術を確立するための研修を推進する	B  A	○自然栽培講習会の実施 ○堆肥盤の設置と切り返し ○フランスイヌ牛による圃場残渣による肥育 ○付加価値の研修会実施
	2 自然環境保全などの環境教育を推進します。	(1) 課題研究「環境専攻班」によるプロジェクト活動を推進する。	B	○調査活動の継続実施 ○学校見本林の活用 ○教科『グリーンライフ』を活用した環境学習の実践
Ⅱ 農業に関する基本的な技術や経営能力、倫理観をもった将来のスペシャリストを育成します。	3 農業の担い手を育成します。	(1) 地域関係機関と連携を図り、先進地視察や技術講習を充実する。 (2) 農業関係大学や農業大学校への進学指導を充実する。	A	○調査活動の継続実施 ○学校見本林の活用 ○教科『グリーンライフ』を活用した環境学習の実践
	4 食の安全・安心教育を徹底します。	(1) 原材料の生産から加工まで一貫した学習を推進する。 (2) 地域の安全で安心な食材を使った製品づくりを推進する。 (3) HACCP・AFS認証制度による食品衛生管理を徹底する。	B	○良質な原材料の生産と確保 ○HACCP・AFS認証制度による継続した食品衛生管理 ○データの記録と保存およびデータに基づいた商品特性の理解と紹介 ○正確でわかりやすい情報発信
Ⅲ 地域貢献、地域連携を推進し、地域農業の発展に努めます。	5 地産地消を推進するとともに、地域の伝統文化の継承に努めます。	(1) 地域農産物の高品質化を目指し、生産物の差別化による魅力ある農産物の生産を目指す。 (2) 地域食材を活用を研究する。	B  A	○地元農家や食品関連企業との連携 ○新道の駅での地元高校生としての取り組み方
	6 産業界や大学等との連携を強化します。	(1) プロジェクト学習において、地元商工会議所等と連携した取り組みを行う。	A	○ICT機器の導入によりテレビ会議等の大学等との交流方法を検討
Ⅳ 農業教育の普及、奨励、支援を行います。	7 すべての児童・生徒に対して、農業教育の普及活動を実践します。	(1) 農業クラブ活動の活性化を図り、クラブ員の資質向上に努める。 (2) 農事視察研修や産業界実習等キャリア教育の充実を図り、産業界として必要な実践力を育成する。	A  A	○農業クラブ活動、プロジェクト活動の充実 ○体系的な町内小中学生を対象とした食農体験プログラムを実施 ○教員の資質の向上
	8 すべての人に対して、農業に対する関心と理解が深まる活動を行います。	(1) 視察研修・交流会の実施や地域のイベント参加をとおして学校の取り組みを紹介する。		○イベント等への参加機会を有効に活用し生徒の取り組みを発信
Ⅴ 東日本大震災からの農業の復興を支援し、自然災害による被害の軽減に努める人材を育成します。	9 自然災害による被害の軽減や自然エネルギーの利用についての学習を推進します。	(1) 地域のバイオガスプラントや太陽光発電の取り組みを学習する。	B	○継続して取り組み ○地域の先進事例研修の実施
	10 東日本大震災で被災した農業高校・生徒を支援します。	(1) 被災地の要請に応じた支援を行う。	B	○農業クラブ活動を通して活動していく